



2018.6.26(火)



PROGRAM

- 夏は来ぬ
- 茶つみ
- ロンドンデリーの歌
- 川の流れるように
- アマポーラ ほか



開演 12時20分 開場:12時00分 終演:12時50分

上坂 美穂子 (メゾソプラノ)

武蔵野音楽大学卒業。
中沢一子、徳田京子、石田采の各氏に師事。中学校教員を経て、現在音楽教室と学習塾を主宰。札幌を中心に各種コンサートに出演する他、病院・学校・高齢者施設などでの演奏も積極的に行っている。クイーン合唱団指導者、大人と子どものためのステージ「音のかけはし」事務局、音楽グループ「Luglio(ルリオ)」のメンバー。



かでの ロビーコンサート

第104回

展示ホール

札幌市中央区北2条西7丁目
北海道立道民活動センタービル(かでの2・7)

秦泉寺 美留古 (ヴァイオリン)

学習院大学文学部史学科卒業。
4歳よりヴァイオリンを始める。小学6年時に福岡青少年オーケストラコンミスを務める。99年より札幌在住、北海道交響楽団に長期籍を置き、2000年には阿姆斯特ダム、パリでヨーロッパ公演に参加する。これまでオーケストラ活動の他、江別ロビーコンサート、複数団体のエキストラ、カルテットなどで演奏活動を行っており、昨年はLuglioの響き第5回演奏会に友情出演をする。現在札幌ジュネス室内合奏団コンサート・ミストレス。これまで渡辺健、森下陽子、森部静武、篠崎功子などの各氏に師事。森部門下として同門の安永徹氏から、夏に数度レッスンを受講し薫陶を受ける。自身ではベルギーフランス派ヴァイオリン奏法確立を目指し研鑽している。



長尾 直美 (ピアノ)

北海道教育大学特設音楽科卒業。
これまで、大学同期生によるフリーゲルコンサート、蘭学コンサート、ちえりあロビーコンサート等に出演。ピアノを中村啓子、横谷漢司、ヘグデューシュ・エンドリ、ラントシュ・イシュトヴァーン、樋口英子の各氏に師事。大井和郎マスターコース、ユージン・プリドノフ公開レッスンを受講。Luglio(ルリオ)のメンバーとして「Luglioの響き」コンサートを毎年行っている。



●主催：一般財団法人道民活動振興センター ●後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
●問い合わせ先：一般財団法人道民活動振興センター
■TEL/011-204-5100 ■FAX/011-271-9827
■E-mail/info@kaderu27.or.jp ■URL/http://homepage.kaderu27.or.jp/





北海道150年事業の考え方

基本理念

縄文文化やアイヌ文化をはじめとする本道独自の歴史や文化、国内外に誇る豊かな自然環境は、かけがえのない道民の精神的豊かさの源です。

本道が「北海道」と命名されてから150年目となる2018(平成30)年を節目と捉え、積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返り、感謝し、道民・企業・団体などと一体となってマイルストーン(節目の年)として祝うとともに、未来を展望しながら、互いを認め合う共生の社会を目指して、次の50年に向けた北海道づくりに継承していきます。

また、道民一人ひとりが、新しい北海道を自分達の力で創っていく気概を持ち、北海道の新しい価値、誇るべき価値を共有し、国内外に発信することにより、文化や経済など様々な交流を広げていきます。

テーマ

- 北海道151年目の新たな一歩を踏み出す
- 先人から受け継いだ財産を次の世代につなぐ
- “Hokkaido”の多様な魅力を世界に広げる

基本姿勢

未来志向

「世界の中の北海道」の視点で未来の姿を見据えます。

価値創造

北海道の可能性を見つめ直し、新しい価値をつくります。

道民一体

北海道を愛する多くの皆さんの参加により、北の大地北海道を盛り上げます。

北海道命名について

本道はかつて「蝦夷地」と呼ばれていましたが、1869(明治2)年7月17日に、松浦武四郎が「北加伊道」を含む6つの名前を候補とする意見書を明治政府へ提案し、その後8月15日に、太政官布告によって「北海道」と命名されました。2018年、北海道はその命名から150年目の節目を迎えます。武四郎が残した『天塩日誌』では、現在の音威子府村のあたりで、アイヌの古老から「カイ」という言葉には、「この地で生まれたもの」という意味がある」と教えられたとの記述があり、「北加伊道」の「加伊」にはこの意味が込められているといわれています。

「北海道」の名付け親

松浦 武四郎 (1818~1888)

松浦武四郎は、現在の三重県松阪市の出身で、生涯にわたって全国を歩き続け、探検家、作家、地理学者、出版者、古物収集家などとして幅広い分野で活躍しました。26歳のときに、ロシア南下に危機を感じて蝦夷地調査を決意。28歳から41歳にかけて全6回にわたり蝦夷地を調査し、その歩みは樺太や国後・択捉島にまで及びました。また、調査の際には、アイヌの人たちに案内をお願いし、寝食を共にするなどアイヌの文化に深く触れるとともに、その生活や文化を紹介するため、多くの記録を残しました。

北海道立 道民活動センタービル



- かでのホール(521席) 1階 ●展示ホール 1階
- 会議室・研修室 1~10階(定員15~216名 37室)

インターネットによる申込み(24時間申込可能、休館日等でご利用できない場合も有ります)もできます。

<http://homepage.kaderu27.or.jp/>

皆様のご利用を
お待ちしております

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目
TEL 011-204-5100 FAX 011-271-9827 E-mail info@kaderu27.or.jp



4階大会議室(定員216名)